

令和時代を生きる鉄道土木技術者

今井政人
JR 東日本 建設工事部長

新年あけましておめでとうございます。JR 東日本入社直後、新人時代の直属の上司であった土井博己さんからトップオピニオンの依頼を頂いた。昭和 63 年に JR 発足一期生として入社し、直轄設計計算、手描きの作図を行っていたことがつい先日のように思い出される。それから 32 年、時代は昭和から平成、令和に変わり昨年 6 月から建設工事部長という職責を与えられた。

この間、当社建設部門の年間工事量は 849 億円から 1,415 億円と約 1.7 倍に伸び、今年は、いよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた工事の最終年、工事屋にとって正念場の年である。また、オリンピック・パラリンピックが終われば、中央線 12 両化、羽田空港アクセス等の輸送改善施策、品川駅、渋谷駅等の大規模ターミナル改良等のプロジェクトが目白押しである。一方、現在の建設部門は、国鉄分割民営化とその後の採用抑制の影響により 45~60 歳の社員が極端に少ない若手社員中心の体制で仕事を進めており、グループ会社等への委託等、いわゆる水平分業の形での業務遂行も増加している。

昭和から平成初期の時代、国鉄をその起源とする当社の土木職場では、他の発注者より直轄業務が多く、自分で手を動かし、経験することで仕事を覚える仕組みが多くあった。直轄線路閉鎖しかり直轄設計しかりである。時間はかかるが自分の手を動かすことにより、仕事を覚え、土木技術者としての能力を向上させる仕組みがあったわけである。

翻って令和時代、前述のように限られた人数で、今まで以上の膨大な工事を実施していくため、直轄作業で自然と仕事を覚える、あるいは、じっくりと現場を見て施工の知識を得るといった時間的余裕は確実に減少している。このような中で鉄道土木技術者としてどういう姿を目指すのか？ どうやって育てるのか？ということが大きな課題であり、解決に向けて先輩諸氏、私も含めて平成時代から試行錯誤を繰り返してきたが、正解はまだ見つかっていない。

ただ言えることは、人数的にも、働き方改革等により時間的にも制約がある中で、一人前の鉄道土木技術者を育成するためには、①習得すべき技術分野の絞り込みと効率的な教育の実施 ②育成に充てる時間を生み出すための業務の効率化の 2 つが必要であるということである。①については、間違いなく必要な技術は、鉄道安全に係る技術、安全に鉄道を運行しながら工事を行うためのハード、ソフトの技術であり、教育については VR 等新しいツールを使った方法が有効である。また、②については、近年、BIM に代表される ICT の急速な進展により画期的な業務のスリム化が可能となってきており、これを推進すべきである。同時に今までにない発想で思い切って業務を見直し、「やらない仕事」を見つけ出して省くことも重要である。

令和時代を生きる一人一人の鉄道土木技術者が自らの技術に自信を持ち、新しいプロジェクトに果敢に挑戦していくことを願い、私もその育成の一旦を担いたいと考えている。

2020年 各社トップの年頭所感 抜粋

- アステリア**：中国の失速、英国のEU離脱、米国の保守化など世界的な停滞が懸念される2020年も、イノベーションは停滞することはありません。
- ANA**：2020年は成長の源泉である「人」にこだわる一年に。
- 伊藤忠テクノソリューションズ**：畳みかけるように成果を上げる「急」の年度です。引き続き、AIやIoT、5G関連ビジネスの推進、ASEAN地域でのサービス拡充。
- 内田洋行**：課題解決には環境づくりが重要。
- NEC**：2020年は「スペシャルイヤー」。
- NTTCom**：「Smart World」の実現に邁進。
- NTTデータ**：新たな価値創出に取り組む。
- オリックス**：持続的な成長のために、チャレンジ精神とグループ連携を高める。既存の枠組みの中だけで行動していても、さらなる成長は期待できない。常に新しい分野へのチャレンジ、ビジネスモデルの変革、業務の改善、イノベーションの精神を持ち続けてほしい。
- コニカミノルタ**：お客様の「みたい」想いに応え続けて、社会課題を解決。
- JTB**：旅行にとどまらない、「ひと」「もの」「情報」全てが交差する「交流」の場をフィールドとして、「JTBならではの価値」の提供を目指します。
- さくらインターネット**：インターネット前提社会の「当たり前」を支える企業に。
- 清水建設**：失敗を恐れず、勇気とスピード感をもって挑戦し続ける人たちが評価され、のびのびと働くことができる環境を創ることは何よりも大切です。そうすることが、「建設を極め（事業競争力）、非建設領域（新たな価値）を切り拓く」ことが、持続的な成長につながるものと信じています。
- ソフトバンク**：5G、IoT、AIを中心に。
- 東北大学**：「門戸開放」。時代は大学に対して、ジェンダー、国籍、才能などの観点から、より多様な人材を受け入れ、さらに豊かな教育・研究の環境を提供することを求めています。
- 日本IBM**：2020年は信頼にもとづくさらなる挑戦の年に。
- 日本ユニシス**：新鮮な発想を社会の仕組みとして実装していく。
- パナソニック**：低収益会社からの脱却とビジネスモデル変革を推進。
- 日立**：2020年はグローバルリーダーを目指す挑戦の正念場。
- FURUKAWA**：コミュニケーションを活性化させ、社会に役立つ「コト」を提供しよう。
- マイクロソフト**：顧客に寄り添う会社を目指す。
- 森ビル**：新しいことに挑戦する人や、物事を進化させていける人には、未来を見ようとする姿勢や、いろいろなことに対する強い好奇心がある。社内の至るところにそうしたエネルギーが渦巻いている会社になって欲しい。
- リコー**：はたらく喜びを支える企業に。
- ワコール**：未来を創造するために「さあ、私たちは何をする？」

VOICE

金字塔 5 連覇達成！

皆様、最近青春していますか？ 私は今、青春真ただ中です！

写真をご覧ください。私が人生初の胴上げをしてもらっている写真です。これは会社の野球チーム(JRC 軟式野球部)で、建コン協野球大会(※)優勝、5 連覇を達成した時のものです。私はエースピッチャーでも決勝打を打った人間でもありませんが、キャプテンを務めたことでチームメイトから胴上げをしてもらいました。宙に浮いている感覚はなんとも気持ちの良いものでした。

試合前には選手のことを鼓舞したり、試合中は円陣を組んで掛け声をあげたりと、貴重な青春を体験させてもらいました。今回は、そんな素敵な体験ができた我が野球部の活動の一部をお伝えしたいと思います。

※建コン協野球大会とは・・・当社が所属する業界である建設コンサルタンツ協会関東支部主催の軟式野球大会のことで、毎年5月に開催されています。大会には毎年40社以上が参加し、トーナメント形式で大会が進んでいきます。(別名：関東建設コンサルタント業界の甲子園？！)

JRC 軟式野球部は、選手37人マネージャー2人の総勢39人で活動しています。活動内容は月1回の練習会と年2回の合宿を基本として、プロ野球観戦等のイベントも開催しながら、建コン協野球大会の優勝を目指して取り組んでいます。

2018年に大会史上初の4連覇を達成し、2019年、さらに5連覇という金字塔を打ち立てるべく活動に取り組まなければなりませんでした。連覇を成し遂げることは簡単ではないと考える我々は、一体どうすれば良いかと頭を悩ませていました。

そんな時、同時期に大会5連覇をかけて戦っていたチームがもう1チームあることに気が付きました。みなさんお気づきですか？ そうです！青山学院大学です！聞けば青学は箱根駅伝5連覇に向けて、「ゴーゴー大作戦」に取り組んでいるというではありませんか。王者青学も計画的に作戦を考えて取り組まなければ達成できない大会5連覇。我が野球部にも「ゴーゴー大作戦」が必要だ！ということで、JRC ゴーゴー大作戦を開始しました。(昨年は5連覇を逃した青学も、今年は見事優勝し、王者奪還しましたね！) 作戦名に因んで5つの作戦を立てて実行しました！



1. 5連覇祈願の箱根神社参り(2019/1/1)
 - ・・・優勝までの道のりを天下の箱根路に見立てることにより
みんなの意識はトーナメント頂上へ！箱根神社へ必勝祈願！
2. 神宮リレーマラソン大会参加(2019/3/23)
 - ・・・野球部員がリレー形式で 42.195 kmを完走！
基礎体力アップと団結力を深めることが出来ました。
3. 新入社員との懇親会(春合宿)(2019/4/6～7)
 - ・・・毎年恒例の春合宿に新入社員も 6 人参加し、一体感が強まりました。
参加してくれた新入社員は大会でも大活躍でした！
4. 強豪チームとの強化試合(2019/4/30)
 - ・・・結果は 0-7 と完封負け。強豪の強さを肌で感じると共に、
本大会に向けて一層気合が入り、いいモチベーションとなりました。
5. ゴーゴーカレーを野球部員みんなで食す！(2019/5/10)
 - ・・・部として、個人として 1 年間取り組んできたことを振り返りつつ、
5 連覇に向け心をひとつに。カレーをおいしく頂きました。

「ゴーゴー大作戦」も無事達成し、大会では苦戦の末なんとか優勝！ 金字塔 5 連覇を達成することが出来ました！ 我が野球部が初めて優勝した 2012 年を含め、5 年連続 6 度目の優勝です。(初優勝の部長は現 PF 事務局の‘あの方’でしたね！)

2020 年も 6 連覇目指して活動を進めていますが、気になるところは、今年はどんな大作戦？ということだと思います。今年は 6 連覇をかけた活動です。6 連覇は別名「V6」、グループ V6 の名曲といえば「愛なんだ」なので、今年の作戦名はズバリ「愛なんだ大作戦」です！

JRC 野球部員それぞれが、どれだけの愛を持てるかが連覇へのカギとなっているのです！部員一人ひとりが思いやりを持って活動し、今年は“6 連覇”を目指します！



(JRC 斎藤 瑛季)

□大型台風で北陸新幹線が運休。頼りになったのはエアラインだった。

千曲川の堤防決壊で北陸新幹線の線路が冠水し、信号装置に被害が確認されたことから、長野～上越妙高間が運休した。新幹線の運休を受け、ANAとJALは、羽田発着の小松・富山路線で一時的な飛行機の大型化や臨時増便を実施した。今回のような有事に空路で対応できた背景には、航空会社を逃すまいとここ数年奔走している北陸の自治体の地道な取り組みがある。

□羽田～伊丹便の人気の根強い理由

東京～新大阪間は新幹線が数分間隔で運行しており、主役は新幹線だ。しかし、新幹線がほぼ100%となった東京～名古屋と比べ、東京と大阪の移動手段として飛行機を選ぶ人が一定数いるのはなぜか。好立地だけでなく豪華なラウンジも魅力に。レストランなど約30店舗が新規出店した中央の商業施設と、家族で楽しめる屋上エリア、地域に開かれた親しみやすさが気楽な利用を後押しする理由なのかもしれない。



□新幹線もエアラインも重要。東京視点と違う「地方の論理」

東北新幹線新青森開業時、地元で取り沙汰されたのは「3時間の壁」で、主に東京-岡山間が比較の対象となっていた。その後、いつのまにか「4時間の壁」に変わった。鉄道、航空機とも、利用時のチケットレスサービスを普及させるなど、所要時間以外の要素が大きく変わっており、利用に際しての「壁」が、どのような形で存在しているか、再検討が必要かもしれない。旅行者にしてみれば「移動の選択肢が存在すること」が最も望ましいからだ。

羽田をハブとした航空機の展開、そして東京駅を起終点とした新幹線網整備は、ともに、東京一極集中を加速している。日本は本格的な人口減少社会が到来し、人口の偏在、経済的な格差の拡大が加速している。持続可能な地域づくりに役立ち、貢献できる空路や鉄道のあり方はどんなものか、根底から問い直しを余儀なくされる日が近づいている。

(週刊東洋経済 2019.11.02)

NEWS

■2019年の10大ニュース

2019年の10大ニュースには11月29日～12月17日の募集期間に18,617通の応募があり、うち有効は18,368通でした。(読売新聞)

- 【1位】天皇陛下が即位。「令和」に改元
- 【2位】ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強
- 【3位】京都アニメーション放火、36人死亡
- 【4位】消費税率10%スタート
- 【5位】東日本で台風大雨被害、死者相次ぐ

10月12日に上陸した台風19号では、東北地方や関東地方を中心に71河川140か所で堤防が決壊。浸水や土砂崩れなどで死者は90人を超えた。また、長野市の北陸新幹線の車両基地が千曲川の堤防決壊で浸水、10編成120車両が水没し、全て廃車となる被害を受けた。9月9日に上陸した台風15号では、強風の影響で千葉県を中心に最大約93万軒が停電。10月25日には、台風21号に伴う記録的な大雨が各地で降り、千葉県や福島県で死者が出た。

- 【6位】ノーベル化学賞に吉野彰氏
- 【7位】沖縄・首里城が焼失
- 【8位】ゴルフ・渋野日向子が全英女子優勝

ゴルフの全英女子オープンで8月4日、渋野日向子が初優勝を果たした。1977年の全米女子プロ選手権を制した樋口久子以来、42年ぶり2人目。ラウンド中も笑顔を絶やさずにプレーする姿から、海外メディアは「スマイリング・シンデレラ」と呼んで称賛した。

- 【9位】マリナーズ・イチローが引退表明
- 【10位】徴用工問題で日韓関係悪化

・・・・・・・・・・参考：過去3年のトップ3・・・・・・・・・・

□2018年

- 《1》平昌五輪で日本は冬季最多13メダル、フィギュア・羽生結弦は連覇
- 《2》西日本豪雨、死者220人超
- 《3》日大アメフト部選手が危険タックル、スポーツ界で不祥事相次ぐ

□2017年

- 《1》14歳棋士、藤井四段が29連勝の新記録
- 《2》天皇退位特例法が成立、19年4月末退位、5月改元へ
- 《3》横綱日馬富士が暴行問題で引退

□2016年

- 《1》熊本地震、死者50人
- 《2》東京都知事に小池百合子氏、築地市場の豊洲移転延期、五輪施設計画見直し
- 《3》リオ五輪、史上最多のメダル41個

■技術講演会が開催されました

講演テーマ：鉄道から発展した日本の近代土木～世界が驚いた“19世紀末の奇跡”とは何か！

講演者：土木学会広報センター 緒方英樹（鉄建建設広報部）

日時：令和元年12月11日 15:30～17:00

場所：JR 東日本コンサルタンツ大会議室

参加者：約80名

封建国家から近代国家への脱皮。西欧が100年かかった近代化を、日本が30年足らずで成し遂げた快挙に世界は驚き、「19世紀末の奇跡」と言われたのは何故？

1. 歴史を学ぶことの意味とは？（人が集団で暮らし始めて、土木の歴史は2,000年）
2. 築土構木 ・小中学生アンケート 全体の56%が土木を知らない、聞いたことが無い
 - ・土木には眼に見えない役割も多い
3. 古代僧侶たちの土木 利他行（自分のことより他人の幸福に尽くす）、日本独特の自然環境
4. 強い戦国武将は、優れた土木技術者だった（自然と国を治める。キーワードは水）
5. 江戸から明治への幕開け

- ・お雇い外国人の技術と情熱、明治5～31年官雇い総数6193人（うち土木1947人）
- ・工部省が最初に取り組んだのが「鉄道建設」、イギリス人技師・モレル
- ・選ばれた最初のエリートが古市公威
- ・明治日本に「エンジニア思想」を注入した工部大教授・ヘンリーダイアー
- ・エンジニア伝道師・広井勇の薫陶を受けた技術者たち

「民衆にとって土木とは何か」⇒土木の仕事とは、福祉である

6. 台湾・烏山頭水庫のほとりに、八田與一夫妻の墓が建立されている
7. 土木の絵本による取組み・土木をテーマとした映像媒体による伝達

【質疑等】

○明治初期のお雇い外国人技師、若い人が1人で案件を進行させ教育も。

しかし、最近は大勢の体制でも（海外案件）進まないが？

●技術の進歩に伴い、専門化（細分化）が進んだことが大きな要因。



■歩行者中心の街なか整備、予算や税制で重点支援

国土交通省は、市町村が歩行者中心の街なかを整備するための新区域を設定できるようにする方針を固めた。街なかの一定のエリアで、街路を広場にしたり、沿道の店舗などの1階部分を改修して開放感のある空間にしたりする場合、予算、税制両面で重点支援する都市再生特別措置法改正案を20日召集の通常国会に提出する。

国交省は市町村による街なかのインフラ整備に関し、都市再生整備計画事業の交付金で必要経費の40%を手当てしている。各地で人口減少が進む中、車中心となっている街なかを人が集まりやすい魅力的な空間に転換し、都市のにぎわいをさらに創出する必要があると判断した。

具体的には、市町村が新たに設定できる「まちなかウォークアブル区域」で、歩道を広げる改修や芝生のある広場などを整備する場合、交付金の補助率を必要経費の2分の1に引き上げる。民間事業者が沿道の店舗などの1階部分をガラス張りにしたり、誰もが使える交流スペースに改修したりする際も2分の1を助成する。

税制面では、街路に面した民有地を広場として開放する場合、該当する土地と、そこに設置する芝生、ベンチといった償却資産について、固定資産税と都市計画税を軽減する。

■シビル NPO 連携プラットフォーム (CNCP) が会報 第 69 号 を発行

- ◇シリーズ 「土木ということば」 第21回 地名の「土木」は「トキ」
- ◇巻頭言 これからのボーダレス社会～産学官から産学官+民へ～ CNCP 代表 山本卓朗
- ◇コラム 千葉県台風被害について考える CNCP 理事 内藤堅一
- ◇「土木と市民をつなぐ」シリーズをふり返って CNCP 副代表理事 花村義久
- ◇部門活動紹介 協働推進部門 用賀プロムナード・メンテナンス事業における住民参画
上級ファシリテーター養成講座のフィールドワーク結果
- ◇会員からの投稿 魅力ある世界一の建設環境の構築を支援 CNCP 個人正会員 五艘 章
- ◇日本初の建設系 NPO 専門クラウドソーシング「シビル・マッチ」

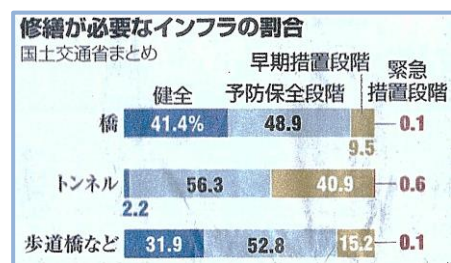
* 詳細は CNCP 事務局にお尋ねください。

Email: info@npo-cnep.org HP: <http://npo-cnep.org>

■最近の気になるニュース 岩井有人さん (JR 東日本) の Facebook より抜粋

① 5年以内に要修繕の道路インフラ 8万ヶ所(01.10)

全国約77万ヶ所ある道路インフラのうち、修繕が早急に必要個所が8万、そのうち約8割が修繕にとりかかれていない。ほとんどが自治体が管理者で、財源不足や住民の反対、それに技術者不足が原因。



② インドの地下鉄整備コンサル受注 (12.31)

建設コンサルタント大手の日本工営は、インド企業2社との共同企業体を通じて同国のチェンナイで地下鉄整備のコンサルティング業務を受注した。チェンナイは経済発展による人口急増の一方で、交通インフラが不足。日本工営の受注額は約50億円。

③ 青函トンネルで「貨物新幹線」実証へ (01.02)

JR 北海道が「貨物新幹線」の実現に向け、2020 年度中にも佐川急便と実証実験に乗り出す。舞台は青函トンネル。東京～札幌間を 4 時間半で結ぶには、貨物列車と共用するために減速している青函トンネル内のスピードアップは避けて通れない。

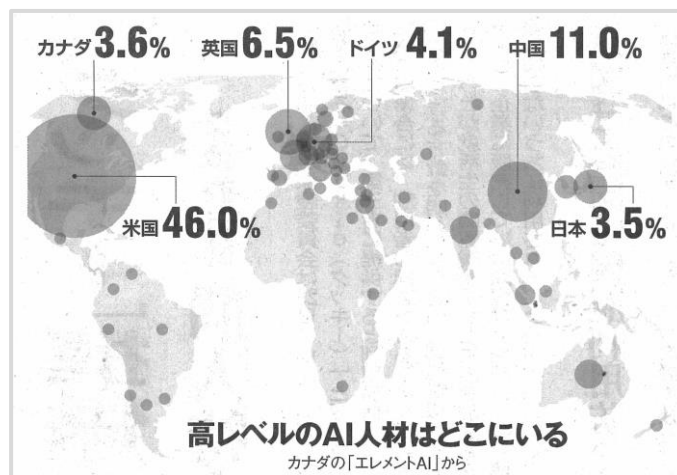
- ・訪日客「2020 年に 4000 万人」厳しく (01.11)
- ・70 歳までの就業確保、企業の努力義務に (01.09)
- ・創作の場、渋谷より金沢 (01.07)
- ・20 年は「デジタル元年」政府、巨大 IT・5G で法整備 (01.04)
- ・東京都が戦略ビジョン、2030 年へ無電柱化や 5G 整備 (12.28)
- ・男性国家公務員の育休取得、上司に責任 (12.26)
- ・地方の交通網維持へ、自治体が計画策定 (12.25)
- ・熱海、ホテルラッシュ (12.24)
- ・20～60 代の半数、月に 1 冊も紙の本読まず (12.24)
- ・訪日客「地方へ直行」急増、25%が主要 6 空港以外へ (12.22)
- ・五輪予算最終版 1.35 兆円に (12.19)

今月の国際比較データ

① 高レベルの AI 人材はどこにいる 出典：朝日新聞 2019.11.30

人工知能(AI)などの次世代産業を担う人材が、世界全体で数百万人単位で不足している。米デューク大コニツァー教授は「AI をめぐり最も重要なのは、その国が抱えるコンピューターの処理能力でも経済規模でもない。だれがそこにいるか、という人的資本に尽きる」と話す。

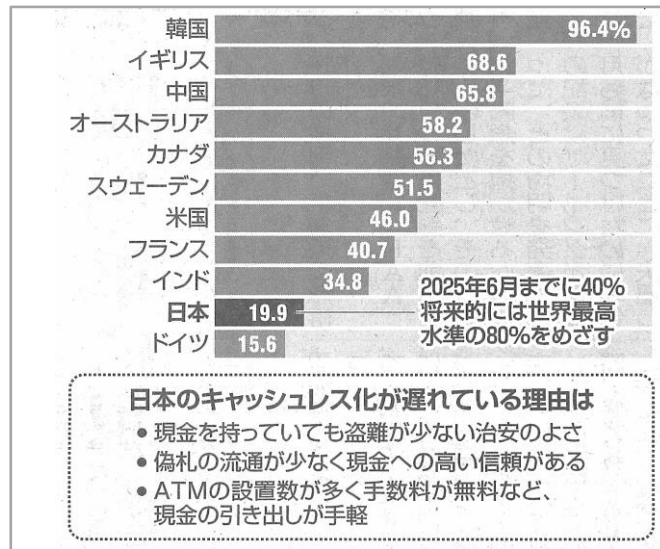
中国政府は 17 年に「新世代 AI 発展計画」を発表し、30 年までに中国を世界の AI 大国とする国家戦略を打ち出した。人材確保のため、中国教育省は 18 年、5 年かけて 500 人の教師と 5 千人の学生を養成する計画を始動、国を挙げて技術人材の育成に取りかかっている。



② キャッシュレス化 出典：朝日新聞 2019.10.20

日本のキャッシュレス化は世界と比べると遅れていると言われる。このため政府は、2019年10月の消費税増税の景気対策に乗じて、キャッシュレス決済をした場合にポイントを還元するなど、あの手この手でこ入れを図っている。

キャッシュレスの「乱立」も普及の障害になっており、11種類の「〇〇ペイ」に電子マネー、それに歴史あるクレジットカードまで加えると37種類、コンビニのレジには各決済業者のロゴがずらりと並んでいる。



③ ビッグマックが高い国 出典：2030年の世界地図帳 落合陽一著 SBクリエイティブ

ビッグマックは世界でほぼ同一の品質であり、原材料や光熱費などさまざまな要因で単価が決められていることから、各国の購買力を把握できるとして、イギリスの経済紙「エコノミスト」の「ビッグマック指数」に使われている。ここでは各国のビッグマックの値段を円換算したものを掲載した。

スイスは物価が高いことで知られているが平均賃金も高く、1ドル110円で計算すると年収は705万円で、日本の445万円と比較すると200万円以上の差がある。

ビッグマックが高い国			
1位	スイス	718円	?
2位	ノルウェー	635円	20位 コスタリカ 409円
3位	スウェーデン	633円	21位 コロンビア 404円
4位	アメリカ	605円	22位 タイ 403円
5位	カナダ	551円	23位 日本 390円
6位	ユーロ圏	503円	24位 ホンジュラス 379円
7位	デンマーク	499円	25位 クウェート 376円
8位	イスラエル	497円	26位 パキスタン 359円
9位	ブラジル	493円	
10位	オーストラリア	472円	

出典：The Big Mac index (The Economist) 2019
 ※各国のビッグマックの価格から、世界経済のネタ帳が1ドル108.4円(2019年1月のレート)で計算したものをもとに編集部にて地図と図版を作成

① 負ける建築 隈研吾著 岩波現代文庫

周囲の環境を圧倒する超高層ビルなど 20 世紀型の「勝つ建築」は、いまやその「弱さ」を露呈している。21 世紀の建築はもっと様々な外力を受け入れる「負ける建築」の方にむしろ可能性があるのではないか。2020 年の東京オリンピックの舞台となる新国立競技場や高輪ゲートウェイ駅の設計に携わった著者の、20 世紀の建築史や現代思想、アートへの幅広い関心にもとづいた独自の建築哲学がうかがえる論集。



② 2030 年の世界地図帳 落合陽一著 SBクリエイティブ

世界はすでに“新しいルール”で動き始めた。

SDGs、GAFA、中国、サードウェーブの世界を俯瞰しわかりやすく解説。小・中学生から大人まで、それぞれの 2030 年に向けてのビジョンを作るために必要なデジタル地政学の考え方は、

地図で「世界」の行方が見えてくる。



③ 大人のカタチを語ろう 伊集院静著 集英社

喧嘩ひとつできないで、どうして男と言えるのか。

下手な計算をし過ぎるんだ。

怒ったことはあるのか。泣いたことはあるのか。

地獄を見たことはあるか。絶望を覗いたことはあるのか。

今のままじゃ、ダメなんだ。

ガキのままでいいわけがない。

真の大人になるために、少しきついことも言うが、大人のカタチを語ってみよう。



事務局通信

◆未来構想 PF のホームページを改修しました。

会員はもちろん社会に大きく開かれた PF を目指し、「参加型」の HP としました。サイトのリンクは以下の通りですが、**スマホで未来構想 PF** と検索しても OK です。

<https://miraikoso.or.jp/>



◆技術講演会を開催します。

テーマ：「臨海開発とオリンピック招致」

講演者：細井優氏（東京レポートセンター代表取締役社長）

日 時：令和 2 年 2 月 17 日（水） 16:30～18:00

場 所：主婦会館プラザ B2 階（JR 四ツ谷駅麴町口から徒歩 1 分）

● 今月の写真コーナー ●

正月厳冬期山行は南アルプスの農鳥岳（3026m）と西農鳥岳（3051m）に 3 人パーティーで挑戦した。3 日間とも好天に恵まれ、山頂からからはピラミダルな形で聳える北岳と、遠く白銀に輝く塩見岳を望むことが出来た。

（写真提供者：日本シビック 元木義隆さん）



【厳寒の荒川三山（左）と塩見岳（右）】
－農鳥岳から－



【雲海に浮かぶ「黒富士山」】



【夜明け前の富士山】
－農鳥岳への樹林帯から－

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。
連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：info@miraikoso.or.jp
〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28